

# 市長とのかがやきライフトーク

と き：平成21年7月26日（日） 13：00～14：30

ところ：赤坂東町公民館

団 体：まちな家赤坂宿

## 【団体】

「まちな家赤坂宿」はまちづくりの拠点として、地域のみなさんが健康に対する意識を持ってもらうことを目的に昨年設立したばかりです。看護師の仕事をしていたこともあり、お年寄りの健康相談などの「週末健康カフェ」や子育て中のお母さん方を支援する「子育てしゃべり場」などの事業を実施しています。



この団体を設立するきっかけとなったのは、いろいろな場所で健康相談を受ける「まちな保健室事業」をやってみないかというお話をいただき相談事業を実施しました。相談事業はみなさんの評判もよかったのですが、継続的な事業ではなかったため、悩みを聞いてくれたり、気軽に相談ができる場所をいつも開設してほしいという声をいただきました。

もともと保健室の先生になりたいという夢がありましたので、地域のみなさんが気軽に立ち寄れて、相談ができる保健室を作りたいという思いが大きくなっていきました。そんなとき協力していただける方々が見つかり、この公民館をお借りして「週末健康カフェ」をスタートさせました。

若い方の参加が少なかったこともあり、子育て中のお母さんたちが参加しやすい子育てしゃべり場や遊びの学校を始めました。ある日、神社で焼いもを作ったところ、どうせやるなら食材から自分達で作ろうということになり、畑をお借りし、教えてもらいながら作ることになりました。実際、農作業をやってみると大変な苦労もありましたが、農作業を体験することで参加者は癒されたり、作物の育ち方を楽しく学ぶことができたりと、人とのつながりも広がっていますので継続していきたいと思っています。

健康カフェでは、健康問題や子育ての不安などが浮き彫りになってきていますので、

今後も様々な人の力を借りながらお互いに助け合う場になればいいと思っています。また、8月からは週末健康カフェを火曜日と日曜日に開催して「健康カフェほのぼの」にバージョンアップさせ世代間の交流を大切にしていきたいと考えています。

### 【団体】

自治会の役員をやっている関係でこの活動の応援をしています。私も健康を維持するために、いろいろな数値を図ってもらいながら相談にのってもらっています。

特に高齢者は骨がカスカスになる可能性があるため、骨密度の測定器があるといいかなと思います。そして食生活や運動などいろいろなアドバイスをしてもらえれば自分自身で気をつけることができます。



また、今後は自治会や社協などの地域団体との関わりも必要になってくると思います。どのようにPRして、まちづくりへ取り入れていくかが課題ではないかと思っています。地域の団体や個人が協力していただくと、まちも活性化していくと思います。

### 【市長】

こういう活動は地域では必要ですね。現在、地区センターなどでは子育てサロンを実施させていただいていますが、1日に何百人も来られることもあり、子育てなどに関する相談のニーズはかなり高いと思われます。子育てに悩む方は多いですから悩みを打ち明けたりする場所が必要ですね。

### 【団体】

港会館は2階にも部屋がありますがあまり利用されていません。多くの方に利用してもらいたいと思っているのですが、開館日が土日祝日になっており、条例で平日の利用ができないようになってるそうですので、平日も利用ができるようになるとありがたいです。

### 【市長】

平日は利用できないのですか。せっかくの施設がもったいないですね。

地区センター建設の要望などもあります。中には施設の利用が低いところもありますし、公園もお母さん同士の出会いの場にも必要かなと思い整備をしていますが、利用される方が少なかったりしますので残念です。

### 【団体】

赤坂港会館へ多くの方々が来館していただいています。遠方からのお客様の駐車場がなくて困っています。地元の人たちが駐車してしまってスペースがないときがありますが、できるだけ皆さんに喜んでいただけるような会館にしたいと考えています。

### 【市長】

まちの中は難しいですね。道の駅などの要望もありますが、まちの中に作ってしまうと、近所の人たちが駐車したり、駐車して他のところへ行ってしまうたり、本当に利用したい人たちが利用できないという問題が必ず起こってきます。そのため道の駅などは田舎が多いですね。

### 【団体】

今年から小学校で特別支援ボランティアをしており、小学校の給食を食べたところおいしくありませんでした。私の子どもたちが通っていた赤坂幼保園では、給食が園で調理されていてとてもおいしくて残すことがなかったのですが、小学校では給食を残す子供たちも多く、食缶にも残っていることが多いです。お米の日は喜んで食べていますが、特にパンがパサパサでおいしくないようです。学校給食の試食会など開いて、一般の方にも味を確かめてもらうといいかもしれませんね。

また、多治見市に研修に行ったとき、小学校の給食を各学校で調理するような話を聴きうらやましく思いました。



### 【市長】

保育園は園で調理しますが、小学校は給食センターで調理しています。以前、食べたときはおいしいと思いましたが、最近はそのようではないのですか。

現在、南部給食センターを建設していますが、従来のウェット方式からドライ方式へ変更する予定です。ですのでよくなると思います。

### 【団体】

私たちが食育推進事業に携わっており、畑で採れたものをその場で調理して食べる体験をしてもらっています。採れたてを食べるのはとてもおいしいですので、学校などもそうであればいいですね。

### 【市長】

農産物も地元で採れたものを使えばいいのですが、学校の給食は大量に必要になりますから、それだけの量を地元だけで調達するのは困難ですね。上石津のしいたけや自然薯など給食に使用できる量があればいいのですが、いずれにしても地産地消は進めていきたいと考えています。

### 【団体】

大垣駅周辺や船町の整備は積極的に進められていますが、それに比べると赤坂は遅れているのではないかなと思います。

空き家になっているところもありますので、その利用についても考えていただけるとありがたいです。

### 【市長】

奥の細道結びの地周辺整備構想も、大垣市としては何年かぶりに整備をすすめていくわけですので、順番も考えながら進めていきたいと思っています。

地域で町並み整備をしたり、町並みに合わせた住宅を建てたりするのであれば、それに対する補助制度がありますので、ご利用いただきたいと思います。

### 【団体】

57番目の宿場町として赤坂宿をどのように保存していくのが課題だと思えます。赤坂のまちを通過地点ではなく観光客にも魅力のあるまちづくりをしていかないといけないと思います。これは赤坂地域の方々の認識に違いがあることも確かだと思えますが、世代が代わっても古い町並みの赤坂宿を存続させていかなければならないと思います。

### 【市長】

高山市は古い町並みがあり多くの観光客が訪れていますが、その地域の皆さまが古い町並みを維持していくには大変な苦勞をしてみえるのでしょうか。

### 【団体】

中山道を通った時、昔の建物はそれほど残ってはいなかったのですが、どこなく住民のあたたかさを感じたので赤坂町に住むようになりました。住んでみると地域の人たちが「お互いさま」という気持ちで助け合える人たちばかりで住みやすいまちだと感じました。

このカフェに来てもらえるお年寄りの方々も、「ここに来るのが楽しみ」

「今が一番幸せ」などと言ってくれる方がいますので、この言葉を励みにしてこれからもがんばりたいと思っています。



### 【市長】

市外から来た人たちの方が、まちのよさが分かるかもしれませんね。まちおこしをされるのも、転入された方ががんばってやられるケースがありますので、ぜひがんばってもらいたいですし、歴史ある景観だけでなく地域の方々と一緒にまちづくりをしないといけませんね。

今後も健康カフェなどを通じて、世代間の交流を深めていただき、生き生きとした輝けるまちづくりをしていただきたいと思います。